

開催地名	香川県さぬき市
開催日時	令和6年2月4日（日） 10：00 ～ 11：30
開催場所	さぬき市源内音楽ホール（さぬき市志度音楽ホール）
語り部	柳迫 長三 （広島県広島市）
参加者	市危機管理課、自主防災会代表、市民等 220 名
開催経緯	南海トラフによる巨大地震の発生確率が上がるなか、本市においては最高津波水位が 3.8m と県内で最も高い想定となっている。 平成 16 年には山間部において土砂崩れ等により甚大な被害を受けているものの、比較的温暖な気候から市民の防災意識は高いとは言えず、まずは防災意識の向上が喫緊の課題であり、本講演会を実施することとする。
内容	地域づくりは防災から （１）広島の水害 平成 26 年に広島市消防局を辞めてから自主防災に力を入れてきたが、平成 30 年の西日本豪雨災害の時に全く成果を出せず、悔しい思いが込み上げてきた。26 年 8.20 広島豪雨災害時は、真夜中に記録的な大雨が続き、目が覚めて外を見ると辺り一面が水浸し。景色が一変し死者・行方不明者合わせて 77 人となってしまった。 地震は予測することができないが、水害の場合は避難するタイミングさえ逃さなければ命は落とさないで済む。8.20 の時はそのタイミングと逃げ方を周知させることができていなかったため、多くの死者・行方不明者を出してしまった。20 年間で大きな水害を 3 度経験し、犠牲者、関連死の減少を目指し、地域コミュニティの力を向上させようとしている。 （２）具体的に行っていること 日頃から家庭において災害時の話をしていないことが多いので、こども発信で家庭内に防災意識を高めさせることが重要だ。現代は若者が地域活動に参加しないため、過去の災害歴を含め地域のことを知らないことも考えられる。 ただし、その若者が地域の方と連携したくても誰に声をかけていいのかわからない、誰も教えてくれないという状態になってしまっているので、解決策として自主防災委員会を作り、自薦によるボランティア募集、学生防災士、女性防災士の登用を始めた。その活動にも資金が必要なので市や民間の助成金を活用している。 また住民には避難所へ行くときの方法（コミュニティバスに協力してもらう、自家用

	車で避難したときに集まれる大きな駐車場の確保など）を伝えている。地元と民間企業が連携し逃げ込める場所を増やすことが、かなり大切である。結局行政に頼らず自立した防災活動ができないと、いざという時、命を守ることができないのである。 （３）まとめ 自主防災会では住民個々の防災力向上を目指し、学生や企業の参加を促している。自分の命は自分で守ることのできる地域を作るために、防災についてもっと深く周知してほしい。
開催地より	広島豪雨を体験された講師の実体験に基づく防災活動の在り方、取り組み内容、そして地域づくりについて分かりやすくご講演いただきました。 演題の「地域づくりは防災から」を合言葉に、「自分の命は自分で守る」という「自助」、「共助」の強化に向けて、市民の防災意識の高揚と自主防災組織の活性化、防災リーダーの養成に努めていきたい。